

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	有	電話	042(769)8282
担当部課名	管理部	学務	課	学務 係
事務事業名	私立幼稚園運営助成事業		事業コード	14110

1 総合計画における位置づけ

政策名	第4章	人間性豊かな子どもを育成します	事業開始年度
基本施策名	第1節	ゆとりある学校教育の創造	~63 年度
施策名	第1施策	幼児教育の振興	

2 実施根拠及び関連法令等

市私立幼稚園園児健康診断事業補助金交付要綱 / 市私立幼稚園預かり保育事業補助金交付要綱 / 市私立幼稚園永年勤続者に対する感謝状贈呈要綱 / 市補助金等に係る予算の執行に関する規則

3 事業概要

(1) 事業の目的	(2) 対象(誰、何)
私立幼稚園教育の振興及び教育条件の維持改善を図る。 私立幼稚園預かり保育事業補助金については、預かり保育を実施する私立幼稚園の設置者に対し当該事業に係る経費を補助することにより預かり保育を促進し、地域での子育て支援の充実と共に幼児教育の振興を図るため交付する。	市内私立幼稚園の設置者
	対象数 45園
(3) 平成13年度事業の内容	(4) 総合計画・実施計画における概要
私立幼稚園預かり保育補助金 43,900千円 私立幼稚園の治ゆ証明書の発行 発行件数3,181件 (社)相模原市幼稚園協会補助金 1,152千円 私立幼稚園教育会補助金 180千円 幼児教育協議会補助金 180千円 私立幼稚園園児健康診断補助金 5,176千円 私立幼稚園緊急安全管理対策補助金 2,176千円	実施計画 私立幼稚園団体への助成
	(5) 個別計画の概要
	計画名
	計画年次 年度~ 年度

4 評価指標

指標名	預かり保育園児数の目標達成率
指標式	各年度の市内私立幼稚園の1日当り平均預かり園児数
指標設定の意図	平成13年度予算編成時の数値目標である500人の達成率により成果を表す

5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	0	441	a 461	b 500	500	
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	16,363	44,036	61,886	62,090	55,545
	人員・時間数	(0.5人)	(0.5人)	(0.5人)	(0.5人)	(0.5人)
	人件費	4,210	4,210	4,210	4,210	4,210
	その他経費					
	合計	20,573	48,246	66,096	66,300	59,755
特定財源						

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 B ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 92.2%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%>)		
a	461.0	$\times 100 = 92.2\%$	$\frac{c}{d} \times 100 =$
b	500.0		$\frac{e}{f} \times 100 =$
理由 :	平成13年度より補助制度の充実を図ったことにより、4.5%増が図られたが目標は達成できなかった。預かり保育制度の周知の浸透等により、平成14年度にはさらに達成度が上がるものと考えられる。		

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由 :	保育所の待機児の解消対策や、長引く日本経済の不況からくる就業希望の増加など保護者からの幼稚園に対する需用に応えている。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 B ▼	A : 妥当である	理由 :	平成13年度より補助制度の充実を図り、補助額の増額を図ったが、補助額の増加分預かり保育園児数が増えなかったため一部妥当でないこととしたが、単年度では成果のものであるものではない。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	県においても同様の補助制度があり、国等も預かり保育の推進を提唱していることから国の補助制度が設けられていく可能性はあるが、保育の充実も伴うこととなるであろうことから、今後の動向を見守る必要がある。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 A ▼	A : 満足できる	理由 :	預かり保育を受ける園児の保護者に直接補助するものではないが、幼稚園の受け入れを推進しているものなので間接的に満足を得られているものと考えられる。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 :	私立幼稚園の預かり保育を推進する上で有効に活用されている。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 預かり時間の延長や、夏休み期間の実施を行えば預かり保育園児数は増えるものと考えられる。
	<p>コスト改善余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 預かり保育が時代のニーズとなっている現状においては、改善の余地はない。

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	なし
今後の進め方		説明	平成8年3月に策定した「相模原市幼稚園教育振興計画」の改訂を予定しており、その中で預かり保育補助の見直しや、その他幼稚園運営助成について検討していく予定である。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--